

カムイワッカ地区における取組の進捗状況について

トピック

【カムイワッカ部会の開催状況】

2021年12月24日に第16回を開催。当年度の事業報告と次年度の事業方針について協議。
2022年3月11日に第17回を開催。

【カムイワッカ地区利用適正化対策】

2022年度マイカー規制/シャトルバス運行について、①5月と7月に車両規制を伴わない渋滞対策（それぞれ5日間と3日間）、②8月に従来方式のマイカー規制（10日間）、③10月に幌別地区から新方式のマイカー規制（3日間）を実施した。特に③の新方式は今年度試行事業の2年目となったが、初めて料金徴収（有料）で実施した。

【ディスタンスキャンペーン実施結果】

2020年から実施しているヒグマの安全対策の普及事業。2022年度は車用マグネットの配布、啓発目的のしおりの作成、知床自然センターでの普及イベントを実施した。

【カムイワッカ湯の滝一の滝以奥再利用検討事業】

カムイワッカ湯の滝1の滝よりも上部区域の再利用をめざす試行事業は、ガイド同行型の試行Aと個人利用型の試行Bと区分し、2年目としてそれぞれ事業期間を拡大し実施予定とされていたが、4月23日に発生した海難事故を踏まえ事業実施を見送ることとし、新方式によるバス運行とセットで行う9/30～10/2の3日間の試行Bのみを実施し、85名が参加した。

【硫黄山登山口利用】

カムイワッカから硫黄山登山口までの道路特例使用制度を6月1日～10月2日までの124日間運用した。

【カムイワッカ地区の整備】

2021年度は落石防止工事のため、カムイワッカ地区を早期に閉鎖し（10月3日に五湖ゲート閉鎖）、カムイワッカ駐車場付近での落石防護柵の補修工事（併せて不安定転石除去、岩盤変位観測所設置を実施）を実施した

2022年度はカムイワッカ橋以奥の落石防止工事（落石防護柵の設置等）を実施した（6月～12月）。カムイワッカ橋手前の擁壁対策工事を2022年度から3か年で実施予定であり、秋のシャトルバス運行時期と調整を行い、10月2日に五湖ゲートを閉鎖して着工している。（工事担当：網走建設管理部）。

1. カムイワッカ部会の開催状況

● 第16回カムイワッカ部会：2021年12月24日

【議事】

- (1) 2021年度カムイワッカ地区の運用状況
- (2) 2021年度事業実施結果について
- (3) 道道知床公園線における工事予定について
- (4) 2022年度以降の事業方針(案)について
- (5) その他

● 第17回カムイワッカ部会：2022年3月11日

【議事】

- (1) マイカー規制/シャトルバス運行実施計画
- (2) カムイワッカ湯の滝1の滝以奥試行事業の実施計画
- (3) 2022年度カムイワッカ地区の事業計画
- (4) カムイワッカ地区の利用のあり方について
- (5) その他
 - ・カムイワッカ部会設置要綱の改正
 - ・ディスタンスカードの展示活用について

2. カムイワッカ地区利用適正化対策

- ・2022年度はカムイワッカ部会での決定を踏まえ、環境保全や混雑対策、観光振興を目的とした以下の事業を実施した。**※詳細：資料3-3別紙①**

① 車両規制を行わない交通対策（5月および7月）

主に知床五湖地区での渋滞緩和をねらいとし、5月連休（5日間）と7月連休（3日間）において、知床自然センター～知床五湖間における臨時バスを運行した。

② 8月繁忙期のマイカー規制（従来方式、10日間）

1999年から継続しているカムイワッカ地区のマイカー規制は、新型コロナウイルスによる需要減や事業予算の制限から10日間に縮小して実施した（2020年より）。期間中の乗車実績は3,548人で昨年比65%と減少した。

③ ホロベツ地区からの新方式のマイカー規制（3日間、試行事業2年目）

ホロベツ地区以奥の車両乗入れを規制し、野生動物とのあつれき対策と新たな利用形態を検討する新方式でのマイカー規制（知床オータムバスデイズ）を実施した。3年目（試行事業期間の2年目）として、今年度はシャトルバスの有償化に取り組んだ。シャトルバスの延べ乗車人数は1,780人で昨年比72%と減少した。

3. 知床ディスタンス！キャンペーンの実施結果

- ・ヒグマの安全対策の普及事業として「知床ディスタンス！キャンペーン」を2020年より実施している。2022年度は新しい取組みとして、カムイワッカ部会構成団体に車用マグネットを配布し、普及啓発に協力いただいた。また、運転中にヒグマと出会った時の行動を伝える葉を作成し、9月より知床五湖駐車場で配布している。また、知床サステイナブルウィークに合わせ、知床ディスタンスキャンペーン普及イベントを実施した。



知床五湖で配布中の葉



知床サステイナブルウィークでの普及啓発イベント

4. カムイワッカ湯の滝一の滝以奥再利用検討事業

- ・2021年度に事業承認を受けた当事業は、試行事業の2年目として、試行A（ガイド引率型）として15日間（一定の条件を満たした場合最大65日間）、試行B（個人利用型）として最大23日間を実施することを計画し、第17回のカムイワッカ部会において承認を受けていた。
- ・しかし、4月23日に発生した海難事故を踏まえ、安全管理に関し、より慎重に対処することが求められると判断し、事業主催者として今年度の事業の実施を見送ることとした。
- ・ただし、有料シャトルバス運行実験と連動し、閉鎖区間内での目的性の高い自然体験コンテンツを確保するため、9/30～10/2の3日間に限り、現地補助員6名を配置して試行B個人利用型を実施することとし、3日間で85名が参加した。

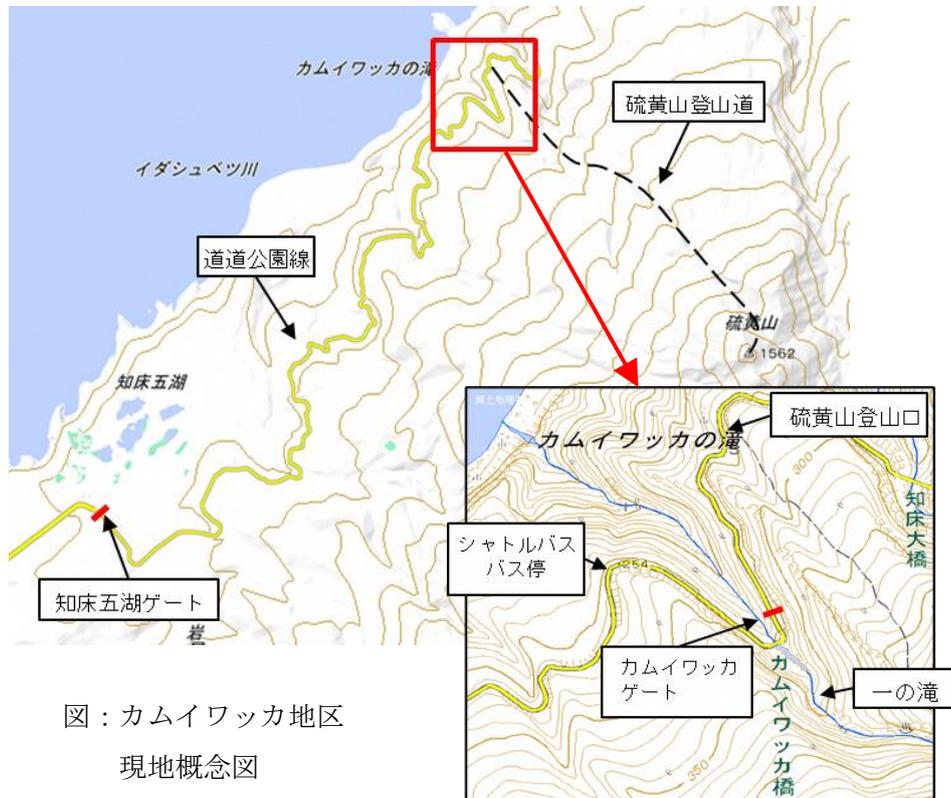
5. 硫黄山登山口利用

- ・道道知床公園線カムイワッカゲート以奥は落石の恐れのため2006年より通行止めだが、硫黄山登山口までは2011年度より道路特例使用制度を運用し、申請した登山者に限り徒歩による通行を認めている。2022年度は6月1日～10月2日までの124日間で運用した。

6. カムイワッカ地区の整備について

- ・2021年度は落石防止工事のため、カムイワッカ地区を早期に閉鎖し（10月3日に五湖ゲート閉鎖）、カムイワッカ駐車場付近での落石防護柵の補修工事（併せて不安定転石除去、岩盤変位観測センサー設置）を実施した。
- ・2022年度についてもカムイワッカ橋以奥の落石防止工事（落石防護柵の設置等）を実施。

カムイワッカ橋左岸の擁壁についても変状が見られることから、2022年度から3ヶ年の計画で対策工事を実施する。工事開始時期については、秋のシャトルバス運行時期と調整することとした。



図：カムイワッカ地区
現地概念図

2022 年度のマイカー規制/シャトルバス運行に係る事業結果について(速報)

知床国立公園カムイワッカ地区利用適正化対策協議会

1. 5月連休の取り組み(規制を伴わない乗り換え促進)

■ 概要

知床五湖駐車場における渋滞緩和を目的として、通常の路線バスに加えて知床自然センターと知床五湖間において臨時バスを増便し、約 30 分間(1 日 12 往復)での運行を行うとともに、渋滞時にも優先的に入場が可能となるバスへの乗換を呼びかけた。

■ 実施期間

2022年5月1日(日)～5月5日(木)

■ 運行方法

通常6往復の路線バスに加え、臨時便 6 往復を運行(始発 8:30)。料金は有料とし、通常の路線バスと同一の価格とした。大人 960 円/子ども 480 円

■ 実績

- 増便運行は、5 日間のうち 1 日は知床五湖臨時閉園のため運休し、4 日間実施した。
- 期間中のバス利用者数は 336 人(2021 年度は 4 日間運行で 156 人)となった。
- 知床五湖駐車場入場待ちの渋滞が発生したのは2日間のみであり、想定の混雑は発生しなかった。

2. 7月連休の取り組み(規制を伴わない乗り換え促進)(新規)

■ 概要

7月の海の日前後の連休に、前項と同様の事業を実施した。

■ 期間

7月 16 日(土)～7月 18 日(月・祝「海の日」)

■ 実績

- 期間中のバス利用者数は 52 人であった。
- 知床五湖の駐車場は期間中 1 度も満車にならず、想定 of 混雑は発生しなかった。宿泊施設の予約も低調であり、全体として入込みが少なかった。

3. 8月のマイカー規制とシャトルバスの運行

■ 概要

1999年より、夏季のカムイワッカ地区における混雑対策として、知床五湖以奥のマイカー規制と、シャトルバスの運行を実施している。また、知床五湖における駐車場入場待ち渋滞の対策として、知床五湖利用者に対しても渋滞情報の提供とシャトルバスへの乗換の呼びかけを実施している。本年度はお盆期間を中心とした10日間で実施した。

■ 実施期間

8月7日(土)～8月16日(月)(計10日間)

例年、25日間程度としているが、新型コロナの影響により2020年より10日間に短縮

■ 運行方法

知床自然センター～知床五湖～カムイワッカ湯の滝間を20分間隔で運行

一部はウトロ温泉ターミナル、および斜里バスターミナルとの直通運行を実施(自然センター始発8:40)。料金は自然センター～カムイワッカ湯の滝往復1,300円。料金は自然センター～カムイワッカ湯の滝往復1,300円。

■ 結果

- 期間中のバス乗車人数は3,548人(2021年度は5,500人)
- シャトルバスの乗車人数としては、過去最低の水準であり、知床五湖などでも想定の混雑は発生しなかった。

4. 10月オータムバスデイズの取り組み(ナショナルパークシャトルの運行)

■ 概要

ヒグマ等の深刻化する野生動物とのあつれき対策、新たな観光コンテンツの創出、地域の二次交通網の検討などを目的として、ホロベツ地区(知床自然センター)からの車両規制とシャトルバス(ナショナルパークシャトル)を運行。「知床オータムバスデイズ」として秋のイベントと一体的に実施し、カムイワッカの滝上流部の再利用事業も同時期に実施した。

今年度は、試行事業の2年目として、バスの有償化に取り組んだ。

■ 実施期間

9月30日(金)～10月2日(日)

■ 運行方法

ウトロおよび知床自然センターを乗り換え拠点として、公園内の主要な目的地を3系統のシャトルバスで分担輸送した。また、一部便には地元ネイチャーガイドが同乗し、知床の自然環境や利用のルール等に関する解説案内を実施した。

■ 料金

3Dayパス2000円、1Dayパス(カムイワッカ往復)1300円、五湖往復700円

※小学生以下無料

■ 結果

- 利用実績は3日間で発券枚数 1,159 枚、バスの延べ乗車人数は 1,780 人となった。
- 3日間天気は安定していたが、利用者は昨年比 72%の水準に留まった。
- 事業効果や利用者意識の分析取りまとめを行い、今後のあり方についての検討を進める予定。

